

## 木更津市土地開発公社経営健全化計画に基づく取組状況 (令和2年度)

### ○法人名

木更津市土地開発公社（以下「公社」という。）

### ○経営健全化計画を策定した理由

平成29年4月末時点の簿価総額は約26億円にまで縮減し、公社経営健全化団体の指定要件（債務保証等対象土地の簿価総額が市の標準財政規模の0.1以上）を下回る数値を達成したところですが、計画的な買戻しによる、さらなる簿価総額の減少に向けた取り組みを進めるため、公社経営健全化計画（第5次）を策定することとしました。

### ○財政的リスクの状況

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	…	目標達成年度 (令和4年度)
債務保証の対象となっている公社保有の土地の簿価総額（保有期間5年以上）【A】	1,805,558千円	1,554,684千円	…	504,016千円
標準財政規模【B】	25,836,319千円	26,038,818千円	…	—
【A】／【B】	6.99%	5.97%	…	—
H28標準財政規模に対する割合※	7.16%	6.17%		2%未満
実質赤字の早期健全化基準の水準	12.03%	12.02%	…	—

※H28標準財政規模 25,200,815千円

### ○主な取組状況

- ・公社健全化計画に基づき、平成30年度から令和4年度までを計画期間として公社の保有する土地の段階的な低減を図っています。平成30年度は2件、令和元年度には3件で、それぞれ199,998,200円分の土地の買戻しを行い、簿価を縮減しました。
- ・公社の借入金に係る利子補給（補助）を継続し、平成30年度は8,295,239円、令和元年度には7,118,766円の利子補給を行い、公社保有土地の簿価上昇の抑制を図りました。

## ○会社の財務状況

(貸借対照表から)

	平成 30 年度決算	令和元年度決算
資産合計(A)	2,426,814 千円	2,227,502 千円
(うち現金及び預金)	31,442 千円	31,248 千円
(うち未収金)	377 千円	0 千円
(うち公有用地)	2,386,712 千円	2,187,971 千円
(うち完成土地等)	3,233 千円	3,233 千円
(うち投資その他の資産)	5,050 千円	5,050 千円
負債合計(B)	1,664,838 千円	1,465,437 千円
(うち未払金)	33 千円	33 千円
(うち長期借入金)	1,664,805 千円	1,465,404 千円
資本合計(C = A - B)	761,976 千円	762,065 千円

(損益計算書から)

	平成 30 年度決算	令和元年度決算
事業収益(A)	200,886 千円	200,617 千円
事業原価(B)	199,400 千円	199,400 千円
販売費及び一般管理費(C)	828 千円	1,133 千円
事業利益(D = A - B - C)	658 千円	84 千円
事業外収益(E)	8,298 千円	7,123 千円
事業外費用(F)	8,295 千円	7,119 千円
事業外利益(G = E - F)	3 千円	4 千円
当期純利益(D + G)	661 千円	88 千円